

インクルーシブ教育 i n 沖縄

～インテグレーションからインクルーシブへ～

開催要項

目 的：障害のある子どもは家から近い学校、近所の友達と同じ学校へ行きたい、という思いがあっても社会的障壁や家庭環境により、家から離れた特別支援学校に行くことが多い。しかし現在の教育制度はインクルーシブ教育の方向に向かっており本来障害を持っていても選択ができるようになってきている。特別支援学校か普通学校の特別支援学級か普通学級か選べるようにするためには地域、福祉、様々な機関の連携が必要である。

障害のある子どもが、地域社会の中で積極的に活動し、その一員として豊かに生きられるようにするためには地域の同世代の子どもや人々との学びや生活の場を一つにする地域社会を形成することが求められる。沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例はまさにそのような社会を目指してつくられた。

今回障害があるため学校へ行けなかった事例から、個に応じた合理的配慮（医療ケア、教材、介助者、施設整備、規程の変更他）や福祉等との連携により普通学校に通っていた事例まで、事例を検討し、討論する。そして障害のある子や親、関係者の思いに対して、様々な選択肢を提示する機会とする。

開催期間：平成28年12月23日(金)～24日(土)

開催場所：琉球大学生生活協同組合中央食堂(沖縄県中頭郡西原町字千原1番地)

日 程 <フォーラム> 日時：23日(金)午後1時～午後5時
<懇 親 会> 日時：23日(金)午後6時～午後8時
<The アビレー> 日時：24日(土)午前10時～午後1時

対 象：学識者、障害福祉、教育関係者、学生、障害のある人、その家族他

参加費：資料代として500円 懇親会参加費2,000円

主 催：沖縄県自立生活センター・イルカ（インクルーシブ教育 i n 沖縄実行委員会）

後 援(予定)：沖縄県 沖縄県教育委員会 県内市町村教育委員会 県内マスコミ

日本障害フォーラム D P I 日本会議 全国自立生活センター協議会

協 力：北部自立生活センター希輝々・自立生活センターまんだ・自立生活センター南十字星・自立生活センターインクルーシブ

<p>問い合わせ先：NPO 法人沖縄県自立生活センター・イルカ内事務局 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-4-1 電話：098-890-4890 FAX：098-897-1877</p>

インクルーシブ教育 i n 沖縄
～インテグレーションからインクルーシブへ～
プログラム

12月23日(金)

午後 1時 開催挨拶
来賓挨拶

午後 1時15分 基調講演「障害者権利条約批准によるパラダイムシフト」
ながせ おさむ
長瀬 修氏 (立命館大学生存学研究センター教授)

午後 2時15分 基調講演「日本の特別支援教育とインクルーシブ教育」
いちき れいこ
一木 玲子氏 (大阪経済法科大学客員研究員) (被災地障害者センターくまもと事務局)

午後 3時15分 事例報告

<報告者>

- ・ つうあん ちみん
・ 莊 棋銘氏 (台北市新活力自立生活協会代表)
- ・ なかむら いおり
・ 仲村 伊織氏と仲間たち (北中城中学校2年生)
- ・ えびはら ひろみ
・ 海老原 宏美氏 (DPI 日本会議特別常任委員、CIL 東大和代表)

午後 5時 終了

午後 6時 懇親会

12月24日(土)

午前10時 Theアビレー「障害者主体のインクルーシブ」
海老原宏美・莊棋銘他

午後 1時 閉会

- ・ 手話、要約筆記、介助等の配慮が必要な方やお子様を預けたい方は12月9日(金)までご連絡ください。
- ・ とくに医療ケアなどが必要な人は12月2日(金)までご連絡ください。
- ・ 個別相談がある方は調整しますのでできたら12月9日(金)までお知らせください。